

出張報告書

令和 2年 10月 29日

市議会議長 様

会 派 名 日本共産党

代表者氏名 岸田 厚

下記のとおり報告します。

記

- 1 目 的 幼稚園、保育所のありかたについての学習
- 2 出 張 先 大阪グリーン会館
- 3 出張期間 令和 2年 10月 16日～令和 2年 10月 16日
- 4 出張者氏名 岸田厚・中井良介・今口千代子・田中市子
- 5 てん末報告
(別紙)

2020年 10月16日

17:00~19:00

(岸田厚・中井良介・今口千代子・田中市子)

講師：中山徹 奈良女子大学教授

公立保育所、幼稚園を民間こども園にする必要はない。

小学校区に1園は公立を残すべき。

民間は保育の独自性、公立は標準的なことを行うということが求められる。

それぞれの役割という面からも、標準的な保育を行う幼稚園、保育所は小学校区に

1園は必要。

定員150人は多すぎる。保育所の定員は100名ぐらいが適切といわれている。

子どもが減っているから、という点では「小規模保育事業」に変更という選択肢もある。

財政分析に基づき、経済効果も検討する必要がある。

公立のコストもかなり落ちている中、劇的な効果はあるのか。

建て替えメリットは単年度だけ。

第2次子ども子育て支援計画は、コロナを踏まえたニーズ調査による変更もあり得る。

人口減少を食い止めるという面から、また子ども子育てをどうするのかという面から

も一般的ではない財政分析を行っていく必要がある。